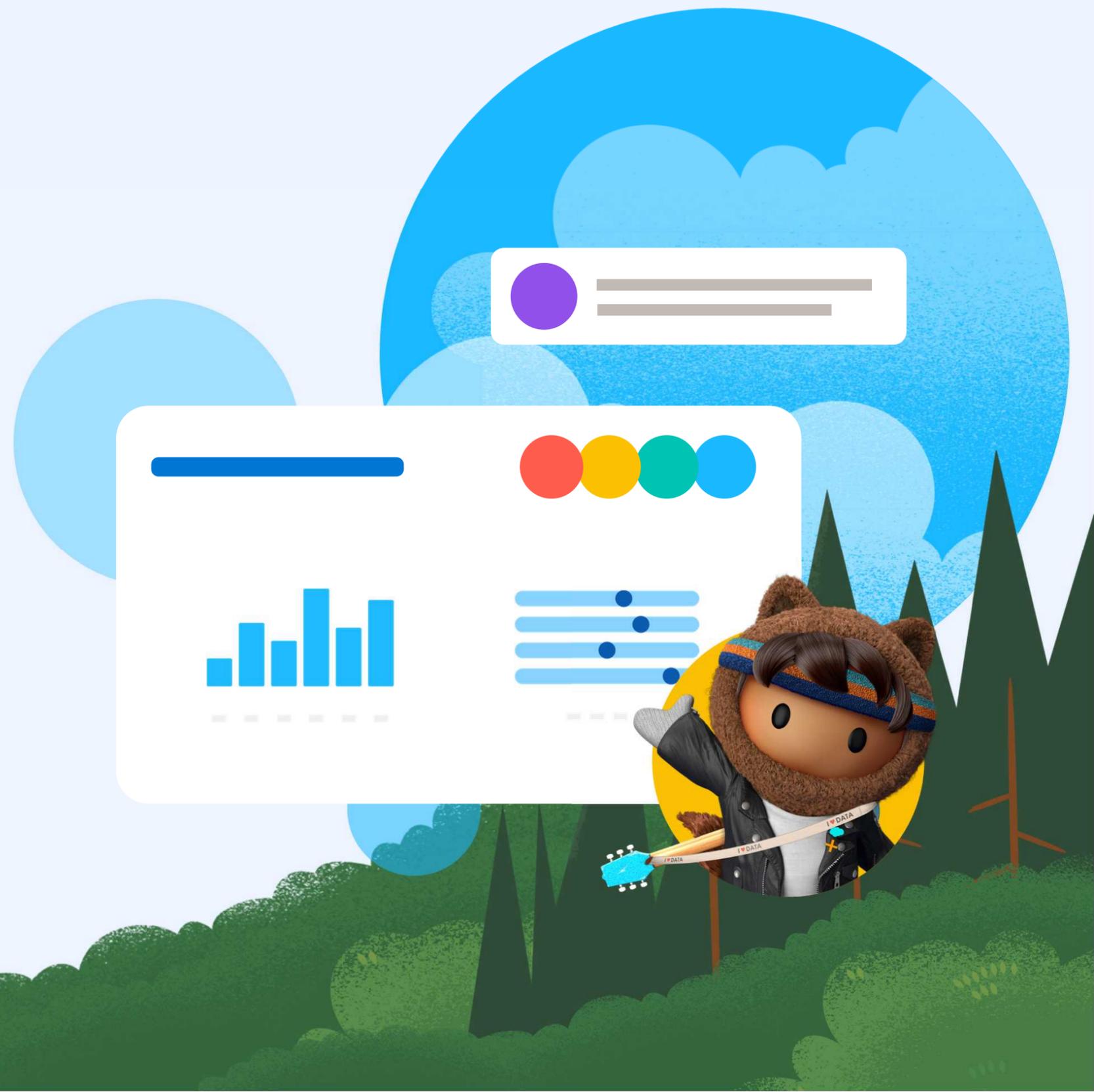




Data活用のトレンド/実情について

2025.2.18

株式会社セールスフォース・ジャパン
Tableau事業統括 首都圏営業部 山本千賀

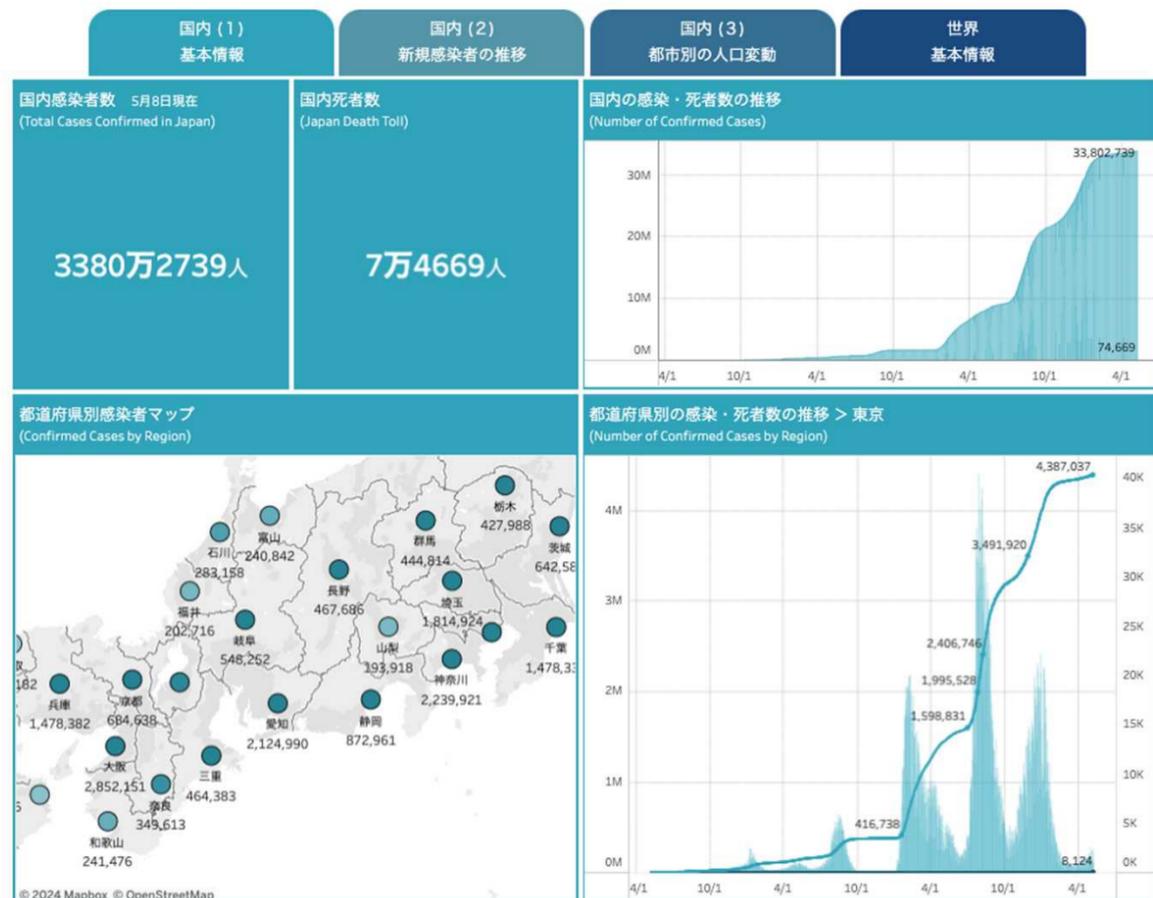


Tableauは以下のようなダッシュボードを・・・ 直感的に作って共有できます



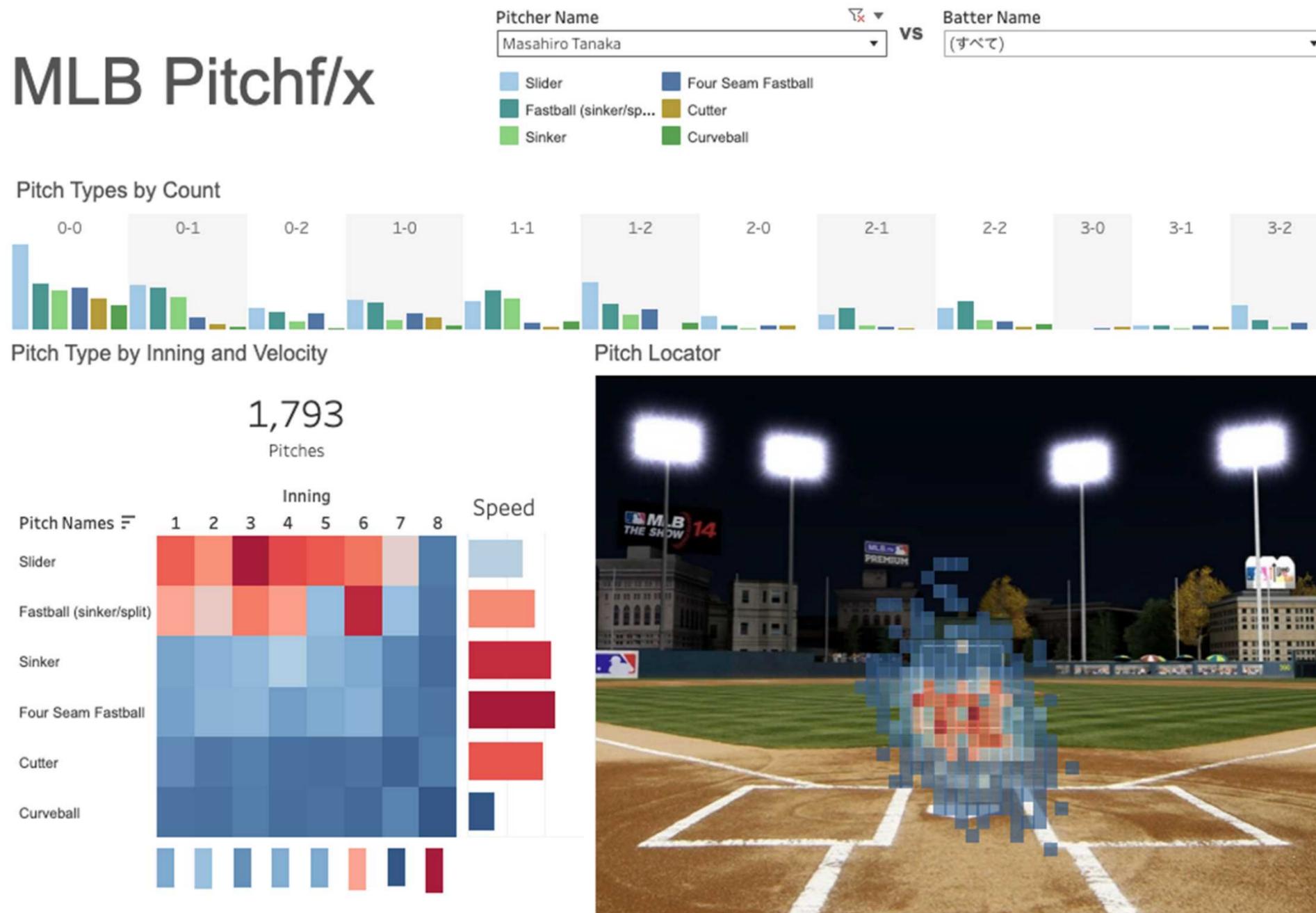
■ミッション

“We help people see and understand data”
(誰もがデータを見て理解できるようになることを支援する)



感染者数の推移を見て迅速に最適な政策を実行

MLB Pitchf/x



ピッチャーの配球を分析/予測し次の打席でホームランを打つ

Data活用の民主化は急務

データ分析 = “特権”から、データを共通言語・知識・武器として**全ての人・組織が力を与えられるべき世界へと大きくシフト**



管理

- 導入
- セキュリティ
- ガバナンス



データ準備

- データモデリング
- 加工



分析

- カスタムまたは高度な分析の構築
- ダッシュボードの作成



会議/プレゼン

分析を意思決定者向けの消費可能なメッセージに変換する



共有と対話

データと分析に関する他の利害関係者との対話



消費

行動を起こすために必要なデータを理解する

データプロフェッショナル

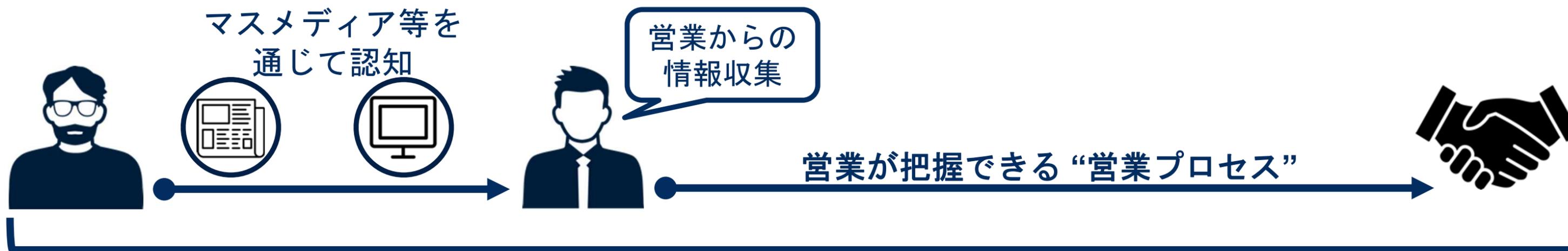
データコンシューマー

行動
消費

顧客の行動が“デジタル”から始まると.....

例えば、営業プロセス一つとっても、“営業”の関与する部分が大きく後ろになってしまう
だからこそ、あらゆるデータを分析しながら“事実”を受け入れ、迅速に最適な打ち手を講じていく必要性が一段と増しています

従来



顧客の契約プロセス

営業が把握できない契約プロセス

現在



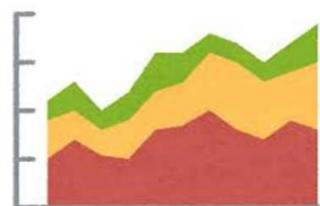
顧客の契約プロセス

こんなことにお困りではございませんか？

Excelでのデータ集計
レポート作成が大変

データを整備・統合し効率的に可視化

世界的に評価されている「**直感的な操作性**」により誰でもレポート作成が可能（特許取得済み）



「あの数字どうなってる？」
への対応が困難

常に最新のレポートを共有

最新のレポートを組織内全員で共有することが可能なため、常に「**最新の内容を基に会話が可能**」



ビジネス現場でデータ
を使いこなせない

誰でもデータを利活用可能

各指標や報告資料を組織内で適正に管理し、全員で共有することが可能なため、「**誰でも正確なデータを元にコミュニケーションが可能**」



企業全体でデータ活用を定着させるためには ツール以外にも押さえるべきポイントがある

組織の視点

83%

CEOの83%は組織を
よりデータ駆動型にし
たいと考えている

データ活用ツール

データ・スキル

データ管理体制

データカルチャー

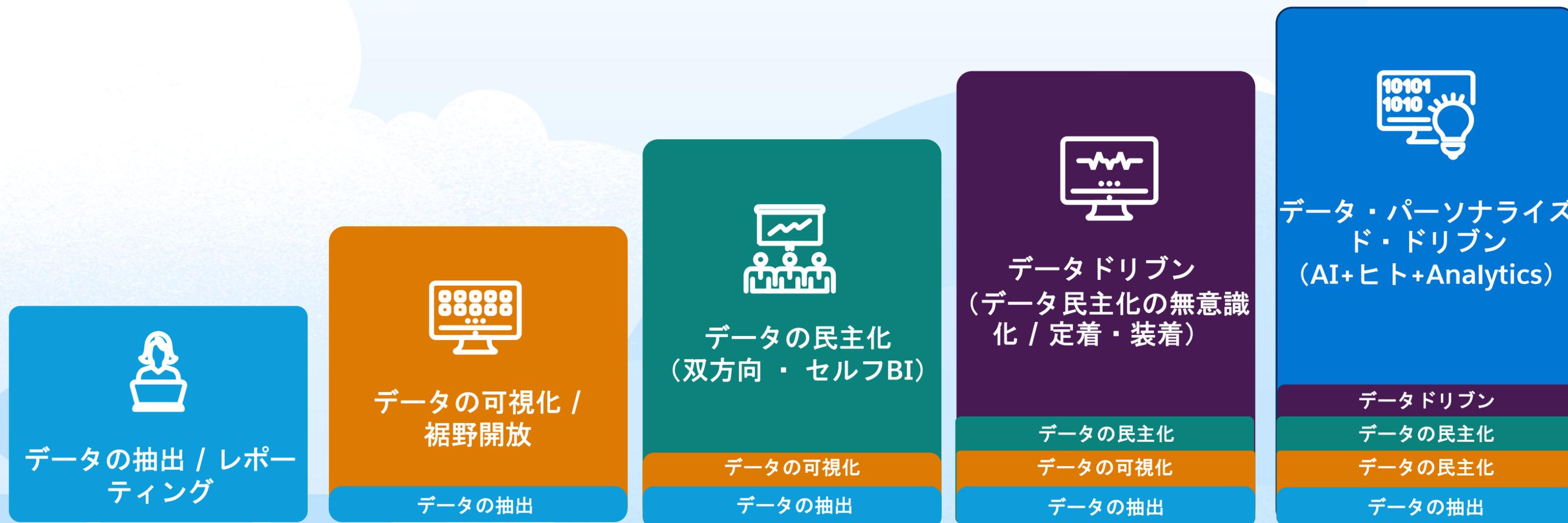
社員の視点

Only
30%

データドリブンな組織
であると考えているの
は、わずか30%

Analyticsの将来像とTableauのポジション

TableauはAI+ヒト+Analyticsで「真のデータドリブン」を実現



Low

データ活用のレベル

High